

巡回展「ダーウインを驚かせた鳥たち」 実施報告書

記入日: 令和 6年 10月 10日

館名・団体名	ネオパークオキナワ
部署・担当者氏名	動物管理部 山中隼輝

1. 開催概要

開催期間

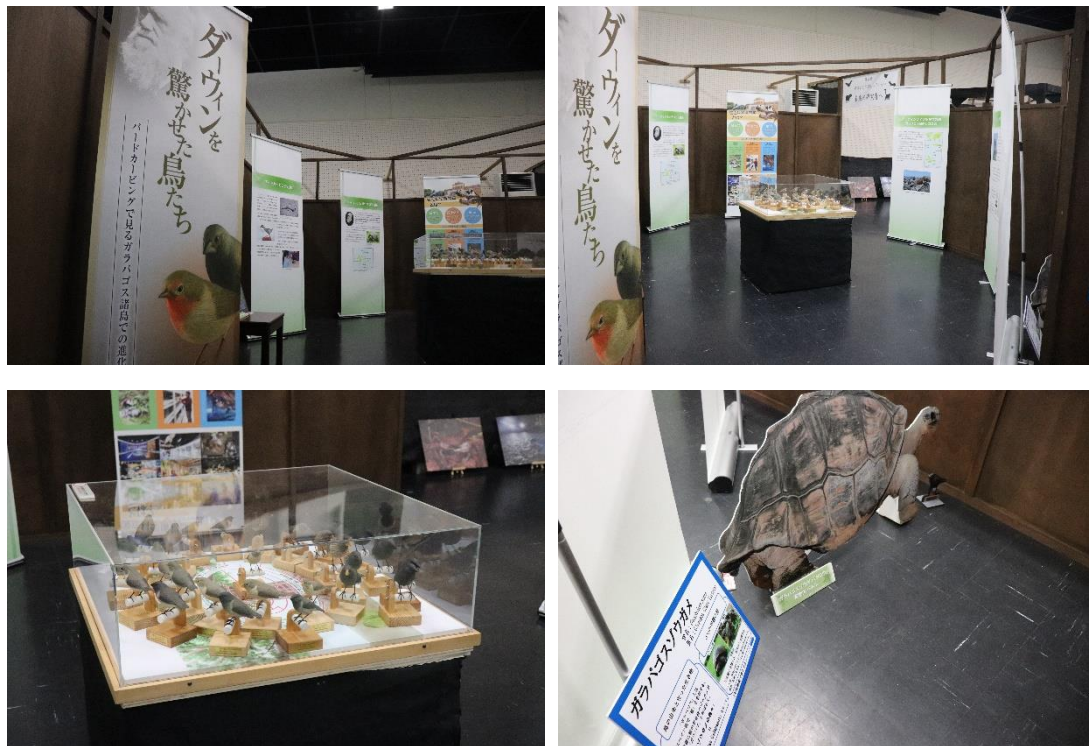
令和 6年 7月 20日(土) ~ 令和 6年 9月 23日(月)

開催日数: 65日(休館日を除いた日数をご記入ください)

展示会場広さ (展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約280㎡

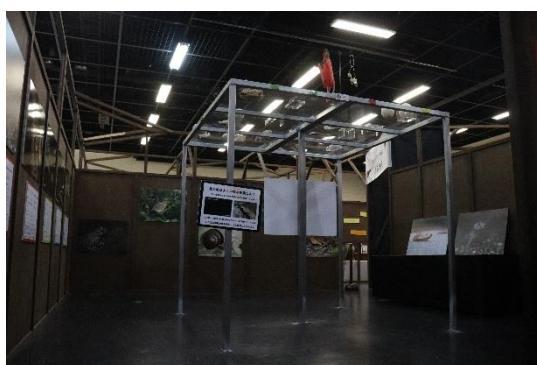
開催の様子 (写真)



チャールズ・ロバート・ダーウインの展示エリアの様子



覗き穴とその穴を覗くと見える風景



他の展示エリアの様子
入口(左)と黒岩恒のエリア(右)



他の展示エリアの様子
黒岩恒のエリア(左)と近藤典生のエリア(右)

2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

	令和 6年 7月10日	展示物搬入
令和 6年 7月 1日	～ 令和 6年 7月19日	設営(15人)
令和 6年 7月20日	～ 令和 6年 9月23日	開催
令和 6年 9月23日	～ 令和 6年 9月28日	撤去(10人)
令和 6年 9月26日		展示物搬出

内容および運営上の工夫があればご記入ください
3 人の研究者(黒岩恒・近藤典生・チャールズ・ロバート・ダーウィン)にフォーカスを当てた内容となっており、その中の展示の一部(ダーウィンのエリア)としてお借りした。 展示物の中には難しい内容があったため、お子様が楽しめるエリア、大人が勉強できるエリアに分けて作成を行った。 また展示場内にゆとりをもって配置したことにより、多くの方の目に展示物が触れることができた。
展示物に対する来場者の反応はどうでしたか
じっくりとバードカービングを観察してくださる方々が多く見られた。また近くに紹介動画を配置したことにより、これまで知らなかった方々にも魅力を伝えることができた。お子様には穴からのぞいた先に配置した、ガラパゴスゾウガメのタロウに人気があった。

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

国立科学博物館がやってくる
研究者を驚かせた生き物たち展

ダーウィンの進化論のヒントとなったとされる鳥
ダーウィンフィンチ展

沖縄自然科学の第一人者、黒岩恒を夢中にさせた！
クロイワパネル展

ネオパークの生みの親、近藤典生を夢中にさせた！
動物たちの骨格標本展

!!

～チャールズ・ロバート・ダーウィン～
生物進化論を発表したイギリスの自然科学者

～黒岩恒～
沖縄の固有種を発見した教育・博物学者

～近藤典生～
ネオパークの生みの親で環境共生学者

日時：2024年7月20日(土)～9月23日(月) 9:30～17:30
場所：ネオパークオキナワ内、情報自然博物館
協力：独立行政法人国立科学博物館、一般財団法人全国科学博物館振興財団

 **NEO PARK**
OKINAWA

HP、チラシ、メディアによる取り上げ。